

労働力調査（基本集計）

平成30年（2018年）4～6月期平均（速報）

結果の概要

[全 国]

- ・ 就業者数は6685万人と、前年同期に比べ142万人の増加
- ・ 完全失業者数は169万人と、前年同期に比べ31万人の減少
- ・ 完全失業率（原数値）は2.5%と、前年同期に比べ0.5ポイントの低下

[地域別]

- ・ 就業者数の対前年同期増減をみると、全ての地域で増加
- ・ 完全失業者数の対前年同期増減をみると、北海道、東北、南関東、北関東・甲信、北陸、東海、近畿、中国、四国及び九州は減少、沖縄は同数

- ・ 完全失業率の実数及び対前年同期ポイント差は、次のとおり

北海道	3.0%	(0.4ポイント低下)	近 畿	2.7%	(0.3ポイント低下)
東 北	2.5%	(0.5 〃)	中 国	2.3%	(0.4 〃)
南関東	2.6%	(0.5 〃)	四 国	2.4%	(0.5 〃)
北関東・甲信	2.2%	(0.2 〃)	九 州	2.6%	(0.7 〃)
北 陸	2.0%	(0.8 〃)	沖 縄	3.6%	(0.4 〃)
東 海	1.8%	(0.7 〃)			

図 1 地域別完全失業率

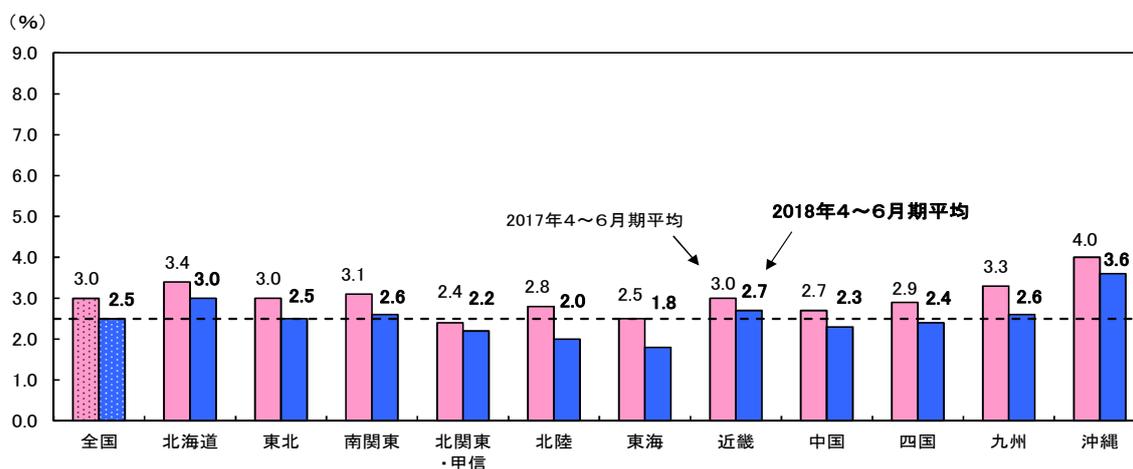


図2 地域別完全失業率の対前年同期ポイント差の推移

